

2022年11月5日

## 対ドミニカ国無償資金協力

### 「ロゾー及びマリゴットにおける水産の建物及び機材整備計画」完成式

2022年11月5日、ドミニカ国ロゾー水産コンプレックスにおいて、「ロゾー及びマリゴットにおける水産の建物及び機材整備計画」の完成式が開催されました。本事業は、10.72億万円（約1千万米ドル）の日本の無償資金協力によって実施され、2017年にハリケーン・マリアの襲来により甚大な被害を受けたロゾー及びマリゴット水産コンプレックスの改修及び設備の更新等が行われました。

日本政府を代表して松原裕大使が出席し、ドミニカ国からはルーズベルト・スケリット首相、メリッサ・スケリット・ロゾー中央地区選出議員、ケネス・ダルー外務・国際経済・海外居住者関係大臣、フィデル・グラント・ブルー及びグリーンエコノミー・農業・国家食料安全保障大臣、グレゴリー・リビエール同省付国務大臣、三村一郎JICAセントルシア事務所長、ドミニカ国政府関係者等が出席しました。

本事業により、当該施設がハリケーン等の厳しい気象条件にも耐えられる設計に更新されるなど、ドミニカ国の水産部門の対応能力の向上及び効率化が期待されます。本事業に加え、日本政府は、2017年のハリケーン・マリアによる被害に対して緊急支援物資を提供したほか、2019年には、草の根・人間の安全保障無償資金協力によってロゾー水産コンプレックスへの製氷機設置を支援しました。

日本政府は、カリブ諸国の強靱性向上及び繁栄のため、防災、環境、エネルギー、廃棄物管理、水産業等の様々な分野における支援を継続し、両国の協力的かつ友好的な関係を更に促進していきます。



完成式への参列者



改修されたロゾー水産コンプレックス



ロゾー水産コンプレックスの視察  
(左：スケリット首相、右：松原大使)



左から、メリッサ・スケリット議員、  
スケリット首相、松原大使、三村 J I C A 所長

お問い合わせ

在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班

Tel: (868)-628-5991/3

Email: ecocoop@mofa.go.jp